



潮音洞（山口県指定文化財）
※飲料用ではありません



清流通り

平成の名水百選に

「潮音洞」と「清流通り」

環境省が認定する「平成の名水百選」に鹿野の潮音洞と清流通りが選ばれました。

潮音洞は今から約350年前、岩崎想左衛門重友が鹿野の台地に水田と生活用水を確保するため、漢陽寺の裏山に掘った灌がい用のトンネル(約90メートル)で、完成までに4年の歳月を要しました。以来、喝水することなく、鹿野のまちを潤してきました。

潮音洞を源とした水の流れは、清流通りとして整備され、市民の憩いの場となっています。

〔内容〕

第3回定例会

(6月24日～7月17日)

行政報告	一般質問	議案等の審議結果	委員会の審査状況	議員全員協議会	本会議の概要
12	7	6	4	3	2

出の2議案を否決

本会議の概要

平成20年第3回市議会定例会が、6月24日から7月17日まで開催されました。今定例会では、市長提出議案26件、委員会提出議案2件、議員提出議案1件、陳情1件などが審議されました。

また、一般質問には24名の議員が登壇し、市政について問^{ただ}い質しました。

最終日には、家庭から出る燃やせるごみの処理費用を有料化する議案や長寿祝金条例の支給対象を拡大する議案、また地方卸売市場事業特別会計への繰出金に関係する補正予算議案などに討論が集中しました。

定例会の主な日程

6月24日 / 本会議

議会人事～正副議長選挙など

7月1日 / 本会議

諸般の報告(報告、質疑)

市長提出議案(提案説明、質疑、委員会付託)

陳情(委員会付託)

7月2日 / 議員全員協議会

鹿野小学校屋内運動場に関する調査報告

7月3～8日 / 本会議

一般質問(24名)

7月9～11日 / 委員会

付託議案、陳情の審査

7月17日 / 本会議

市長提出議案(委員長報告、討論、表決)

議員提出議案(提案説明、質疑、討論、表決)

陳情(委員長報告、討論、表決)

閉会中の継続調査

所管事務調査の中間報告

行政報告

ごみ処理有料化を否決

今回提案された「廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例」の一部改正は、ごみの減量化と処理費用の負担の公平化などを目的に、燃やせるごみ処理費用の一部を指定ごみ袋に上乗せして、排出者(市民)に負担を求めるようとするものでしたが、17日の本会議で、賛成少数で否決しました。

有料化と20枚無料配布を併せて提案

提案内容は、容量45リットルの燃やせるごみ用指定ごみ

袋1枚の価格を、現在の10円から50円に、容量30リットルを8円から30円に、容量15リットルを6円から15円とし、また併せて市内すべての

世帯に30リットルの指定ごみ袋を年間20枚無料配布しようとするものです。

反対理由に「不公平感」など

本会議における討論では、「ごみの減量化や再資源化には有料化は避けられない」との賛成意見もありましたが、「有料化によってごみ減量化を求めるのではなく、ごみの減量について、もっとPRするなど他の施策を推進すべ

き」「原油の高騰をはじめ、物価が上昇している今、市民生活の負担増に拍車がかかる」、「世帯人数に関係なく、一律の無料配布は、不公平感を生む」など反対意見が多く述べられました。





議員全員協議会（7月2日）

鹿野小学校屋内運動場に関する調査報告

平成19年3月に完成した鹿野小学校屋内運動場が、完成後1年に満たない期間にひび割れが多発し、たびたびの補修にもかかわらず、壁からの漏水が繰り返し発生しました。市では、児童生徒の活動の場として、また地域住民の緊急時避難場所としての安全性を確認するため、今年3月に鹿野小学校屋内運動場調査委員会を設置し、詳細な調査を行ってきました。

今回、その調査の結果や内容、併せて建物の機能や補修・補強対策について、田村隆弘委員長（徳山工業高等専門学校教授）、古田健一委員（徳山工業高等専門学校准教授）から報告を受けました。

安全性（耐震性能）には問題なし

報告では、安全性（耐震性能）について、建築基準法の設計基準の要件を満たしている。耐久性や機能性には不具合があり、今後、防水、ひび割れ対策などの補修を続け、耐久性や機能性を回復する必要があるとの調査結果でした。

コンクリートの強度に質疑が集中

ひび割れからの漏水が指摘されていましたが、「水の浸入により中の鉄筋の強度に問題はないのか」「ひびが入ることによりコンクリートの強度に問題はないのか」といった建物の強度についての質疑が集中しました。

これまでの研究によれば、耐震性能は約5%程度低下はするものの、問題はないと考えられるとの報告でした。

市長提

長寿祝金条例の一部改正

本会議では否決

85歳以上に一律5千円を支給しようとする「長寿祝金条例」の一部改正は、付託された健康福祉委員会においては賛成多数で可決すべきものと決定しましたが、17日の本会議において、賛成少数で否決しました。

支給基準が焦点に

提案内容は、現行の88歳及び99歳以上を対象に1万円を

支給している支給基準を85歳以上に5000円を支給しようと変更するものです。長寿祝金条例については、

昨年、支給対象に80歳と90歳を追加する改正案が提出され、否決しています。

討論では、その支給基準や根拠が焦点となり、「お年寄りに優しい周南市をつくる礎となる」などといった賛成意見もありましたが、「後期高齢者医療制度に対する配慮とするならば、支給対象年齢を75歳以上とすべきではないのか」「この財源を他の高齢者福祉事業に充てるべきではないのか」などといった反対意見がありました。



健康福祉委員会

長寿祝金条例の一部改正、
委員会では賛成多数で可決

周南市長寿祝金条

例の一部改正では、主な質疑として「平成18年に敬老祝金を廃止し、長寿祝金としたのは財政が厳しく、全国的に廃止の方向の中で、他の福祉関係事業の予算に振り替えるという説明であったが、その検証はどうか」との問いに対し、「生きがい

活動支援通所事業は利用回数を月2回から4回に増やしている。老人クラブや生涯現役社会づくり、ふれあい生き生きサロンなども今年度も引き続き実施している。毎年高齢化率が上がる中で現在実施している事業は、高齢者対策として大変重要なものと考えており、今後も実施していく予定である」また、「支給対象を

85歳以上とした理由は何か」との問いに対し、「市の財政状況を総合的に踏まえ、平均寿命より長生きされた方にお祝いをするのが喜ばしいと考え、85歳以上とした」との回答でした。

討論では、「介護予防や健康増進などの施策をより充実していくことの方が大事である」との反対意見、また「今の周南を支えてきた世代への感謝の思いで長寿祝金を出すことが大事である」との賛成意見などがありました。採決

の結果、賛成多数で可決すべきものと決定しました。

次に、健康診査の自己負担に関する陳情では、討論として、「市民税非課税世帯の自己負担額を昨年どおり無料とする、という陳情の趣旨を理解し、賛成する」という意見があり、採決の結果、全会一致で採択するべきものと決定し、その処理の経過と結果の報告を請求するものと決定しました。

健康福祉委員会における審査状況



委員会の審査状況

第3回定例会では、7月9日～11日の3日間、各常任委員会及び予算特別委員会に付託された議案・陳情の審査を行いました。主な審査状況は次のとおりです。

環境教育委員会

ごみ処理の有料化に「待った」

周南市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例の一部改正では、主な質疑として「30リットルの燃やせるごみ用指定ごみ袋を1世帯に20枚無料配布するというところであるが、世帯の構成人数によって是不公平になる。なぜ人数別にはならないのか」との問いに対し、「ごみは人数に比例して増えるわけではない。すべての世帯に等しく配るこ

とによって公平性が確保される。一定量を超えた部分について、ごみ処理手数料を負担していただくという考え方である」との回答でした。

討論では、「ごみ袋の一定量無料化という新たな提案もされており、ごみ減量化への啓発と早期対策のためにも有料化は必要である」との賛成意見がありました。

しかし、「ごみ処理基本計

画が、制定当初に比べて大きく乖離している。リサイクルプラザの建設、桑原不燃物処分場やN7号埋立の問題等を勘案すると、基本計画そのものを再考すべきである」「ごみ袋の値段を上げることによって減量化を求めるのではなく、まずは市がしっかりとPRをすることで、まだまだ減量化が可能。生活必需品が値上がりする中、これ以上市民に負担をかけるべきではない」また、「目的とするごみの減量化や再資源化に決して

反対するものではないが、市民が納得できる内容を提示できるよう取り組むべきである」との多くの反対意見がありました。採決の結果、本件は賛成少数で否決すべきものと決定しました。



建設経済委員会

動物園と大平山ロープウェイとの相互割引で広域観光を推進

徳山動物園条例の一部改正では、「大平山ロープウェイとの相互割引の仕組みは」との問いに対し、「徳山動物園を利用された方に大平山ロープウェイの半額割引券を、また、大平山ロープウェイを利用された方に徳山動物園の半額割引券を差し上げる」との答弁でした。

採決の結果、全会一致で可決すべきものと決定しました。

市道の認定及び廃止議案では、県から管理の引き継ぎを受けた須々万地区の東殿木原線について、「市道認定基準の4mに満たないかどうか」との問いに対し、「これまでの利用の経緯を尊重して、市道認定しようとするものである」との答弁でした。採決の結果、



建設経済委員会では、認定・廃止の19路線をすべてを現地視察

全会一致で可決すべきものと決定しました。

企画総務委員会

省エネ改修工事により固定資産税が減額に

市税条例の一部改正の専決処分の報告・承認を求める議案では、固定資産税における省エネ改修工事について、主な質疑として、「どのような住宅改修工事を行えば、減税になるのか」との問いに対し、「窓の改修工事を必須条件とし、それに付随して床、天井そして壁

などの断熱改修工事を行い、その費用が30万円以上であることなど、一定の要件を満たした場合に減額の対象となる。なお、新築住宅の減額措置を受けている場合は、この減税制度の適用はない」との答弁でした。採決の結果、全会一致で承認すべきものと決定しました。

予算特別委員会

市場会計繰出金などに対する2件の修正案はいずれも否決

平成20年度周南市一般会計補正予算（第2号）の地方卸売市場事業特別会計繰出金について、主な質疑として「使用料を3年間9割減額しない」と黒字にできないとのことだが、市長は1年に限ったカンフル剤と説明している。食い違いがあるがなぜか」との問いに對

し、「経営再生計画が、卸業者から5年計画で出てきたが、長すぎるということでは、減額は1年単位で考えるべきで、何年先までということとは約束できないという意味である」との答弁でした。

また経営再生計画は「第三者の経営プロが見た上で、作成すべきではないか」との問

いに對し、「専門家による経営再生計画のチェックについては、融資をしている銀行の判断があり、この内容に決定した」との答弁でした。

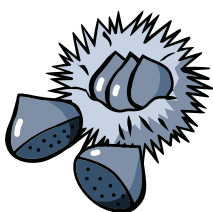
また「過去の市の管理体制も問われると思うがどうか」との問いに對し、「卸売市場を取り巻く出荷者、小売業者、市民への影響を考えると、市としては公設市場の果たすべき役割を総合的に勘案して判断した。議会から頂戴した様々な意見を卸業者に伝えるのは市の責任であると思っている」

との答弁でした。

この補正予算に對し、地方卸売市場事業特別会計繰出金（1918万8000円）を減額する修正案と、同繰出金及び長寿祝金支給事業（1918万3000円）を減額する2件の修正案が提出された。

討論では、「使用料の減額が卸売者の再生につながるのか不明である」「長寿祝金の支給よりも様々な福祉施策に財源を充てるべき」などの反対意見もありましたが、「市

が措置しなければ市場運営に多大な影響を与え、市民生活に支障を来す」「長寿祝金は支給条例でその可否が決定され、あえて修正案に賛成する必要がない」などの原案賛成の意見が出され、採決の結果、賛成多数で両修正案を否決、賛成多数で原案可決となりました。





議案等の審議結果

市長提出議案26件、委員会提出議案2件、議員提出議案1件、陳情1件の本会議における審議結果です。

市長提出議案：平成20年度補正予算関係（件名及び概要）		審議結果
◆一般会計補正予算（第1号）の専決処分を報告し、承認を求めること ⇒574億1,329万7千円（113万8千円増額）		承認（全会一致）
◆地方卸売市場事業特別会計補正予算（第1号）の専決処分を報告し、承認を求めること ⇒6億4,027万6千円（5,588万6千円増額）		承認（全会一致）
◆老人保健特別会計補正予算（第1号）の専決処分を報告し、承認を求めること ⇒17億433万8千円（8,524万8千円増額）		承認（全会一致）
◆一般会計補正予算（第2号）⇒574億7,347万3千円（6,017万6千円増額）		可決（賛成多数）
◆競艇事業特別会計補正予算（第1号）⇒354億3,686万6千円（1億2,917万7千円増額）		可決（賛成多数）
◆地方卸売市場事業特別会計補正予算（第2号） ⇒市場使用料（1,918万8千円減額）、一般会計繰入金（1,918万8千円増額）		可決（賛成多数）
市長提出議案：条例改正など（件名及び概要）		審議結果
◆監査委員の選任⇒炭村信義 氏		同意（全会一致）
◆教育委員会委員の任命⇒月谷慈寛 氏		同意（全会一致）
◆人権擁護委員候補者の推薦⇒中山哲男 氏		同意（全会一致）
◆市税条例の一部改正の専決処分を報告し、承認を求めること ⇒地方税法等の一部改正に伴うもの（平成20年4月30日施行）		承認（全会一致）
◆市税条例の一部改正⇒地方税法等の一部改正に伴うもの（平成20年12月1日施行）		可決（賛成多数）
◆廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例の一部改正 ⇒手数料を燃やせるごみ用ごみ袋1枚につき50円の範囲内で規則で定めるもの		否決（賛成少数）
◆手数料条例の一部改正⇒関係法令名称の変更		可決（全会一致）
◆長寿祝金条例の一部改正⇒支給対象者を85歳以上とし、祝金額を一律5千円支給するもの		否決（賛成少数）
◆遺児福祉手当支給条例の一部改正 ⇒「盲学校、ろう学校若しくは養護学校」を「特別支援学校」に改めるもの		可決（全会一致）
◆美術博物館条例の一部改正⇒「盲学校、聾学校及び養護学校」を「特別支援学校」に改めるもの		可決（全会一致）
◆郷土美術館条例の一部改正⇒「盲学校、聾学校及び養護学校」を「特別支援学校」に改めるもの		可決（全会一致）
◆徳山動物園条例の一部改正⇒入園料の減額を追加するもの		可決（全会一致）
◆消防団員等公務災害補償条例の一部改正⇒対象者の追加及び補償基礎算定額を変更するもの		可決（全会一致）
◆字の区域の変更⇒湯野地区の字の変更		可決（全会一致）
◆市道の認定及び廃止について⇒認定18路線、廃止1路線		可決（全会一致）
◆訴えの提起（2件）⇒市営住宅の建物明渡等請求		可決（全会一致）
◆字の区域を変更し、又は変更して、町の区域を新たに画することについて ⇒大字呼坂を勝間ヶ丘1・2・3丁目、藤ヶ台1・2丁目へ変更するもの		可決（全会一致）
◆工事請負契約の締結について⇒（仮称）周南市リサイクルプラザ建設工事		可決（全会一致）
◆工事請負契約の締結について⇒太華中学校校舎改築工事		可決（全会一致）
委員会提出議案（件名）		審議結果
◆議会広報編集特別委員会の設置		可決（全会一致）
◆徳山駅周辺整備対策特別委員会の設置		可決（全会一致）
議員提出議案（件名）		審議結果
◆意見書の提出⇒後期高齢者医療制度の廃止を求める意見書		否決（賛成少数）
陳情（件名）		審議結果
◆健康診査の自己負担に関する陳情		採択（全会一致）
●書類提出：出資法人の経営状況について（7件）		
●報告：損害賠償の額を定めることに関する専決処分（4件）、繰越計算書（6件）		

一般質問

一般質問は、議案に関係なく市政全般について、市長など執行機関の考えや方針を問いただすものです。本市議会では定例会ごとに行い、質問時間は1議員あたり60分(答弁時間を含む)です。

第3回定例会では24人の議員が登壇しました。

ここでは、多くの質問の中から一部を取り上げ、質問・答弁の要旨をお知らせします。



ぬくもりのある環境観光立市を

坂本心次 議員

問

平成の名水百選に選ばれた「潮音洞、清流通り」は、市民協働の賜物。今後、この場所を環境観光立市で全国に宣伝していかないと意味がないと思うが、何か方策を考えているのか。

答

ホームページによるPRの他、水をテーマにしたリーフレットの作成、観光ツアーなどを早期に実

現する。特に鹿野地域では観光協会、かの高原開発、地域の方々と一緒に全国発信しようと考えている。環境行政では、清掃美化活動を支援していく。また、教育行政では、「子供百人一首」を小中学生から募集し、選ばれた作品は看板に書き込み、その場所へ立ててみたいと考えている。

学校施設の耐震化と改築・補修計画は

小林雄二 議員

問

改正地震防災対策特別措置法以降、学校施設の耐震化は早急の課題となっている。耐用年数を超えた小中学校屋内体育館施設や校舎の改築が急がれるのではないか。

答

公立小中学校等の建物について、耐震診断の実施とその結果の公表が義務付けられた。本市では対象

となるすべての建物の第一次耐震診断を既に終えている。その結果、耐震化対象建物158棟のうち、耐震性のあるものは73棟であり、耐震化率は全国平均を下回った。現在、年に2・3棟の建て替えを実施しているが、早急に年次計画を策定し、第二次耐震診断を実施する中で改築・補強に取り組む。

市政戦略、広告収入について問う

西林幸博 議員

問

1 合併特例債もあと5年で打ち切りになる。市長の任期3か年の取り組みが本市の将来を大きく左右する。時宜を逸さない取り組みが必要と思うがどうか。

答

1 有効な財源は積極的に活用し、何があっても、まちが継続して元気になっていく仕組みをつくっていききたい。

2 広告収入は10億円を目標にしている。市の広告が民業を圧迫しているかどうかは、その時点で検討していく。

小児救急を休日夜間から徳山中央病院へ

長谷川和美 議員

問

医療現場の医師不足や過重労働が社会問題化している中、特に小児医療の環境は悪く、小児科医の過労死とも言える自殺も他市で発生している。

答

私は過去3年間、休日夜間急病診療所を、徳山中央病院へ移設することを一貫して提案して続けてきたが、周南市の休日夜間急病診療所の方向性はどうか。

全国に先駆け、周南モデルとして画期的な小児の初期救急を担当する診療所を徳山中央病院に移設し、12月1日開設に向け調整中である。休日夜間急病診療所の患者の6割を占める小児科移設で、内科、外科だけでは採算性はとれないが、子ども優先で取り組みたい。今後、医師会ともさらに話を進めていく。

観光立市でも駅周辺開発にインパクトを

長嶺敏昭 議員

問 周南市の顔となる徳山駅周辺開発は、ただきれいで便利にするだけでは全国や世界に情報発信できる投資とはならない。観光や文化に触れたいお客様や消費していただけるお客様を誘致するには動機付けできる仕掛けが必要と思うが。

答 今年度中に基本計画を策定し、その後、都市計画決定。それからデザイン面決定。それからデザイン等の実施設計の段階に入っていく。その中で提案の環境問題の専門家や国際的なコンペによる設計依頼を進める。デザイン会議を設置し、単に駅という機能面だけでなく、観光・文化の面でもアピールできる方向性を出せればと思っている。

市長マニフェストを検証する時期では

青木義雄 議員

問 市長が就任して1年が経過し、市長自身で予算編成された平成20年度予算が可決された。100を超えるといわれるマニフェストの達成度や進捗よく状況を表明し、市民に発信する第一次検証をすべき時期だと思いが見解は。

答 できたら毎年、最低でも2年に1回はマニフェストの評価をしたい。行政がどれだけ頑張っているか、わかりやすく説明していきたい。学校給食センターや駅周辺整備については、年度ごとの達成目標をしっかりと出していきたい。次の検証時には、レベルアップして市民の理解をさらに得られるようマニフェストに取り組む。

耐震調査未実施の木造校舎の対策を

形岡 瑛 議員

問 1 学校耐震化計画を見直し、前倒して進めるべきではないか。また、耐用年数が20年近く経過している木造校舎等の耐震診断はどうか。

2 木造校舎の耐震調査の緊急対応を求める。深刻な事態ではないか。

答 1 法改正による補助率引き上げが3年間の期限措置であることを踏まえ、改正の内容に沿った耐震計画を策定し、第二次診断を実施の後、補修工事を行う。また、周南市の木造校舎は国の補助対象にならないため、先に調査した耐震化計画の158棟の中には含まれていない。

2 調査が必要である。予算措置も含めて、早急な対応を取りたい。

障がい児には、学童保育の学年延長を

藤井直子 議員

問 1 特別支援学級に通う障がい児が、一人で学校から家に帰ることや、親が帰宅するまで一人で留守番ができるようになるまでの間、児童クラブで過ごせるよう、学年延長できないか。

答 1 基本的に特別支援学級に通学している児童については、4年生以上も受け入れていきたい。

2 変えなければいけないところは、変えなければいけない。クレームが多いという話は、国の方にきちんと上げたい。広域連合の条例改正の際に訴えていきたい。

ごみ有料化、市民は「ノー」、白紙撤回を

中村富美子 議員

問 市長はごみ有料化を提案された。市民から「原油高騰で食品をはじめ物価が上がっている中で、値上げは厳しい。値上げごみが減るとは言い切れない。他の多くの無駄遣いを省くことからやって欲しい」というような反対意見があり、多くの市民が有料化は「ノー」と言っている。有料

答 化は地方自治法に違反し、税金の二重取りで、百害あって一利なし。有料化問題は市長の政治姿勢であるが、白紙撤回すべきである。

答 ごみの減量化・再資源化を進めるには、ごみ処理に対する市民の負担をお願いすることやらせていただきたいと思います。

長寿祝金の根拠は何か

尾崎隆則 議員

問 昨年に引き続き上程された長寿祝金条例。3

月の当初予算で75歳以上の方を対象とした敬老会に、参加できない人たちにも何らかの形でお祝いをしていくということ、今までの一人当たり9000円から1100円へ増額する予算を認めた矢先、85歳以上の方に一律5000円を支給す

るといふ条例改正には納得できない。

答 市長選ではお祝い制度の充実を第1番目のマニフェストにうたい当選した。今年ためなら来年も提案したい。お年寄りを取り巻く環境は、物価高騰などあらゆる値上げで大変なこ

とになっている。

幼・保一元化、学校耐震化の進捗は

金井光男 議員

問 1 幼稚園・保育所を一元化した総合施設「認定こども園」の整備は急務ではないか。例えば、夜

市、戸田、湯野に幼稚園は各1園ずつあるが、保育所がない。

答 1 「認定こども園」の整備について周南西部

地域は、すでにある幼稚園に保育所機能を付加する「幼稚園型」として、また鹿野地域においては「幼保連携型」として整備していきたい。

2 関係各課と協議の上、各学校の実情等を踏まえた基本的な耐震化の方針、概算費用、財源等を含め、年次整備計画の策定に取り組んでいる。

通学路の総点検と危険箇所の早期改善を

田中和末 議員

問 1 市内すべての小

中学校の通学路について総点検を実施するとともに、交通量が多く改善が必要な危険箇所（遠石小・徳山小学校区）は早期に安全対策を。

2 来年度以降の屋内体育施設等の建て替え計画は。また、合併特例債を活用して計画の前倒しを。

答 1 通学路の総点検は実施したい。指摘の箇所については、学校と連携しながら担当部署に改善要望を行っていく。

2 今後の計画として、岐山・遠石小学校、和田・住吉・菊川中学校を予定している。耐震化整備計画の中で改修が必要なものについては、早期に取り組むたい。

高層市営住宅での災害時避難訓練を

反田和夫 議員

問 本市の高層市営住宅には、ひとり暮らしの高

齢者や障害を持つ方も多く居住しておられる。災害が発生してからの対応ではなく、住民の生命と財産を守るため、常日頃から災害防止対策が必要と考えるがいかがか。

答 高層市営住宅の避難方法や避難対応は重要な

問題である。昨年、部屋ごとに火災報知器の設置を進めているが、高層住宅の場合、警報が鳴った後の避難方法が問題となる。避難訓練の実施が十分ではないことから、居住者の方への避難方法のご案内、また避難訓練についても早急に対応し実施していきたい。

不燃物最終処分場の現状は

土屋晴巳 議員

問 1 桑原不燃物処分場は操業延長するの

か。また、残余容量は。

2 リサイクルプラザが完成した場合の処分量の減量予測とN7号埋立処分場が完成した場合の取り扱い。

答 1 現在の受入期間は平成22年度末だが、以後10年間延長をお願いしたい。許容量は50万m³で、残余容量は3万m³である。年間の埋立量が約1万5000m³、数年先には許容量を超える。本年度に増量調査したい。

2 リサイクルプラザ稼働は平成23年度を予定しており、28%の資源化、48%の減量と予測する。N7号埋立処分場の建設が遅れており、容量7万m³のため、両方の使用も考えている。

財政状況、市長の言動を問う

古谷幸男 議員

問 1 今後5か年の財源不足は54億円と言われているが、見通しはどうか。また、10億円の予算削減したとのことだが、経常収支比率はどうなるのか。

答 1 平成26年から交付税も減ることから、財政健全化計画を1年前倒しして、平成21年度からの実施を検討している。職員削減などで財政健全化を推進しているが、今後、経常収支比率は多少上がってくる。

2 自分のPRではなく、現在、本市にある問題を掲載したものである。

問 1 平成26年から交付税も減ることから、財政健全化計画を1年前倒しして、平成21年度からの実施を検討している。職員削減などで財政健全化を推進しているが、今後、経常収支比率は多少上がってくる。

答 1 平成26年から交付税も減ることから、財政健全化計画を1年前倒しして、平成21年度からの実施を検討している。職員削減などで財政健全化を推進しているが、今後、経常収支比率は多少上がってくる。

2 自分のPRではなく、現在、本市にある問題を掲載したものである。

高齢者の聴覚検診の実施を

吉平龍司 議員

問 1 高齢者に対し、簡易発信器の活用による聴覚検診の実施を。

2 地球温暖化対策として省エネ製品の購入や公共交通機関の利用などの促進策として、市民エコポイント制度の導入を。

答 1 高齢者の加齢現象である難聴傾向の影響により、引きこもりやコ



ミュニケーション不足の解消を研究・検討していきたい。

2 エコすごろくを作成・活用し、市民意識の向上と並行してエコポイント制度の検討をしたい。

コアプラザ熊毛の機能、道の駅の進ちょくは

中津井 求 議員

問 1 (仮称) コアプラザ熊毛は、熊毛総合支所の建物を利用する計画であるが、地域審議会の要望を反映しているか。

答 1 地域審議会において整備に対する要望は入っている。熊毛総合支所を大胆に改造し、西庁舎1階を行政執務エリアとして集約する。残りは市民活動の場となるコアプラザとして整備する。また図書館は東庁舎北側に新設する。

2 熊毛地区の道の駅の候補地は決まっていない。経済部に道の駅推進室を新たに設置した。市民の皆様と協同で、仮の店舗から始めるたい。当面は農産物直売から始める。

原発建設反対の表明と宣言を周南市で！

高松勇雄 議員

問 1 刈尾海水浴場の砂が侵食・飛散している。対処法と今後の対応は。また、大島干潟の覆砂の侵食・飛散は大丈夫なのか。

答 1 季節風の収まる3月と海開きに定期的に、また支障があればその都度砂の除去を行っている。大島地区の皆さんに問題が起きないよう国交省と引き続き適切な対応を進める。

2 水素タウン構想を含め、周南市が新しいエネルギー使用の実験都市になればと願っている。

問 1 刈尾海水浴場の砂が侵食・飛散している。対処法と今後の対応は。また、大島干潟の覆砂の侵食・飛散は大丈夫なのか。

答 1 季節風の収まる3月と海開きに定期的に、また支障があればその都度砂の除去を行っている。大島地区の皆さんに問題が起きないよう国交省と引き続き適切な対応を進める。

2 水素タウン構想を含め、周南市が新しいエネルギー使用の実験都市になればと願っている。

人との関わりを重視した教育の取り組みは

井本義朗 議員

問 人との心のふれあいを重視した教育について本市の考えと取り組みの実態はどうか。

答 心の教育を教育の根幹ととらえ、人との関わりを通じて感動を体験し、感性を磨くということが子どもたちの成長にとって大切なことである。そのため、小中学校では、開か

れた学校づくりを推進し、三代目交流学習、ゲストティーチャーの活用、地域の伝統文化の継承、職場体験学習など様々な取り組みを実施している。今後も人との関わりを重視した教育が推進されるよう、学校・地域と力を合わせ努力していきたいと考えている。

将来の燃やせないごみ処理の市民負担は

岩田淳司 議員

問

1 (仮称) 周南市リサイクルプラザの稼働に向けて、燃やせないごみの処理・分別は市民にどのような負担になっていくのか。

2 久米中央土地区画整理事業の進捗よくおよび通学路変更に伴う地域の安全についての対策はどうか。

答

1 平成23年のプラザ本格稼働に向け、平成22年秋頃より、容器包装リサイクル法に基づいたプラスチック類の2分別・収集を考えている。分け方・出し方を分かりやすく図式化し、負担を少なくしたい。

2 現在の事業進捗よく率は3分の1程度であるが、平成28年度完成目標に向け、全力で取り組む。安全面では住民説明会の開催等も検討する。

周南市の自然災害対策は

徳原尚一 議員

問

1 自然災害を想定した市の具体的な対策はあるのか。

2 南浦山の総合排水事業について、今後の事業の見通しはどうか。

答

1 防災における管理の重要性、大切さを強く感じている。一人ひとりの市民生活や災害時における要援護者の避難支援を考

慮して具体的な防災対策を考えていきたい。

2 浦山地区は浸水常襲地帯と認識している。地元の要望や意見を伺いながら、地元住民が納得できる雨水対策、排水対策を早期に事業着手していきたい。



動物園リニューアルに市民の夢と知恵を

小坂玲子 議員

問

動物園の果たす役割は大きく、子どもたちの感性を育てる場でもある。関係者の努力で入場者も増えた。そこで、現状のトイレでは限界があるため、洋式トイレに取り替え、子ども用のトイレも設置できないか。また、リニューアル案の中に15万市民の思いと知恵を取り入れる方法はあるのか。子どもたちのひとみ輝く、魅力ある場にするためには、キツ

答

子どもの視線から見ると動物園づくりは大切である。実現可能性調査を行い、まちなか動物園は観光立市の最重要施設と位置付けている。またトイレは早急に対応していく。

市街地活性化基本計画の策定に向けて

清水芳将 議員

問

1 まちの衰退による土地の固定資産税収入の減少は、財政を大きく悪化させていると思うがどうか。

2 まちづくり三法改正に呼応した、法定の活性化基本計画を策定するためのハードルである準工業地域の規制やまちづくり会社の設置、民間主導の活性化協議会立ち上げに対する認識は。

答

1 標準宅地の価格が平成9年と比べて、平成20年は平均して約72%減となっている。市税収入という面からもまちの活性化は必要なことである。

2 今年度、駅周辺の素案を示し、平成21年度には基本計画を確定し、都市計画決定を受けた。その他の案件も積極的にクリアしていきたい。

周辺地域の医療サービスの今後のあり方

兼重 元 議員

問

周辺地域医療サービスの実情認識は。また将来にわたってこれをどう克服すべきか。

答

中山間部が医療関係者の虫食い状態で大変悩んでいる。県知事へ一番目の要望事項として申し上げたが、もう待てない。医者の高齢化が大変進んでおり、今後中山間部は全く無医療

の状況になる。山口県は医学部卒業生の県外流出率が全国ワースト5位になっている。元気のあるうちに市の奨励金で毎年一人医者を育成し、インターン後、必ず10年間はここに勤務してもらおうなどの計画を作り、特に中山間部においては息の長い医療体制を検討する。

学校給食は小規模センター式で対応

学校給食センター建設基本計画が策定されたことから、7月17日、今後の施設整備に向けてのスケジュール、建設場所や費用などについて報告がありました。

具体的には、当初の大型学校給食センターを見直し、大津島以外は小規模センター式とし、平成25年度までに計画的に12か所のセンターを整備するというものです。それぞれのセンターの整備計画は、各年度の予算の中で審議することになります。

【センター別対象校】

センター	小学校	中学校
栗屋	大島、杵島、久米、桜木、櫛浜、遠石	太華、鼓南、周陽
高尾	秋月、岐山、周陽	秋月
新地	徳山、今宿	岐陽、住吉
熊毛	三丘、高水	熊毛
勝間	勝間、大河内	
桜田	夜市、戸田、湯野	桜田
富田	富田東、富田西	富田
福川	福川、福川南、和田	福川、和田
菊川	四熊、菊川	菊川
北部	大道理、長穂、沼城、八代、中須、須磨	翔北、須々万、中須
鹿野	鹿野、大向	鹿野
大津島	大津島(自校式)	大津島(自校式)

アレルギー対応は

再度検討

今回提示された基本計画では、「すべてのアレルギーに対応した給食をつくることは困難である」との考え方が示され、計画の見直しを求める意見がありました。

これを受けて、アレルギーへの対応は、再度検討することになりました。



議会を傍聴しませんか

市議会では、市民生活に関係がある重要な問題が審議されています。すべての会議は公開で行われていますので、お気軽に傍聴にお越しください。

傍聴席入口の受付簿に住所と氏名を記入していただければ、どなたでも傍聴できます。

■平成20年第4回 定例会の予定

9月 3日	本会議
9月 5日～10日	一般質問
9月11日	常任委員会
9月12日～17日	予算決算特別委員会
9月25日	本会議

※定例会は午前9時30分から開催されます。

※土・日、祝日は休会です。また、日程は変更になる場合があります。その際はホームページに掲載します。

ケーブルテレビ議会中継

■本会議の様子を、ケーブルテレビで実況放送しています。ぜひご覧ください。

◇CCS・・・・・・・・11ch

◇Kビジョン・・・・・・・・16ch

◇メディアリンク・・・・5ch

■各委員会での審査の様子を2時間程度にまとめた番組を放送しています。

日程はホームページに掲載します。

編 ● 集 ● 後 ● 記

改選後初めての議会となった6月定例会は、連日の猛暑のなか、議案の審議もまた同様に白熱したものとなりました。

これからも議員一同、皆様の立場になって働いてまいります。ご意見等をお気軽に聞かせてください。



CM022

E392

周南市はISO14001
の認証を取得しました